

## 誰もが健やかに過ごせる 地域社会の実現



### 自治会連合会総会を開催

自治会連合会の総会が、4月23日(木)、ホテルクリスタルパレスで開催されました。遠藤ひたちなか警察署長より、来賓を代表して挨拶を頂き議事に入りました。

総会では、平成26年度事業報告及び決算報告、平成27年度事業計画及び予算などが審議され、いずれも原案どおり承認・議決されました。役員選出では、会長に飯島光則氏(弥生西谷津自治会長)が再任されました。また、本間市長より、16自治会の新任会長へ市政協力員の委嘱及び退任会長への感謝状贈呈が行われました。

本年度の活動指針となる主な事業は、次のとおりです。



### 組織基盤の確立

自治会未加入者や高齢化等による脱会者の問題を検証し、持続性のある、魅力的な自治会運営、組織基盤の確立を目指す。

### 安心・安全な地域づくり

市や関係機関と連携を密にし、防犯活動の強化を図る。自主防災会と市の連携を深め、万一の災害に備え、防災機能の向上を図る。交通事故のない社会を目指し、市交通安全対策本部事業への積極的参加を図る。

### 関係機関との連携

廃棄物の減量、防犯、障害者自立支援及び公共交通に係る関係機関と連携を図り、住みよい社会づくりを目指す。地域の実情に即した福祉活動を推進するため、市、社会福祉協議会及び民生委員児童委員協議会と連携を密にする。

### 市などへの提案・要望

本市の最高規範である「まちづくり基本条例」が施行され、5年が経過した。私たち市民は、まちづくりの主役。公共の利益増進となる課題を、市などの関係機関に、提案・要望をする。

“誰もが健やかに過ごせる地域社会”の実現には、市民一人ひとりのご理解とご協力が不可欠です。



今後、地域の代表である自治会連合会は、まちづくりの発展に繋がる地域課題の研究、市など関係機関へ情報提供や要望などを行い、安全で安心な地域社会の形成を目指します。

当連合会でも空き家や空き地については深刻な課題と捉え、平成26年12月に市へ空き家・空き地対策について要望書を提出しました。市と協働しながら、地域でもできる取組みを実施することでさらに良い施策を検討・推進できるものと考えております。

平成26年度市政要望事項  
市の「空き家等対策」について  
平成27年5月26日に全面施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、現在、市では行政指導の対象となる、周囲に危険等をもたらす「特定空家」の基準作成や所有者特定の作業を行っているところです。また、使用できる空き家は地域における身近な拠点・居場所として有効活用できる資源として捉え、地域等と連携し地域活性化に繋げることも必要です。

# 自治会連合会の活動

## 新任自治会長研修会

5月20日(水) 市役所第3分庁舎 防災会議室1

新任自治会長を対象とした研修会が開催されました。市担当課及び社会福祉協議会より、自立と協働のまちづくりをはじめ、各事業や補助金等の概要について説明を受けました。質疑応答も活発に交わされ、大変有意義な研修会となりました。

今回は、研修に参加した、はしかべ自治会の北島会長に、研修を受けての感想をお聞きしました。



### 新任自治会長研修会に参加して はしかべ自治会 会長 北島 敏雄

5月20日(水)、市役所第3分庁舎で開催された新任自治会長研修会に参加をしました。

研修会では、ひたちなか市社会福祉協議会の事業説明、資源回収事業補助金など自治会関係の補助金等について説明がありました。

研修後、質疑応答の時間がありましたが、避難行動要支援者における自治会未加入者問題や、防犯灯と市所有の街路灯の違いなど多くの質問があがり、とても有意義な時間で、意見も活発に交わされました。

来年度も新任会長を対象に研修を行うのであれば、今回よりも時間をかけた研修会にしたほうがより充実した研修会になると思いました。

## 新任自治会長

平成27年度(敬称略)

大内 賢一(金上)	近藤 清二(枝川)	石原 澄雄(東大島)	黒澤 和夫(湊泉町)
鈴木 和喜(津田第二)	熊坂 泰一(武田)	北島 敏雄(はしかべ)	吉崎 孝三(湊本町)
七戸 光雄(津田第三)	鹿志村 均(稲田)	吉村 茂則(幸町)	関山 興道(湊中央)
吉田 徹(市毛南)	保永 和勇(常葉台)	飛田 要一(小川)	根本 源一(磯崎)

## 自治会連合会役員

平成27年度(敬称略)

会長 飯島 光則(弥生西谷津)	監事 松本 光荣(上高場)
副会長 川崎 秀夫(和田町)	本間 祥逸(神敷台)
坂井 久彦(大成町)	事務局長 高村 力男(勝田本町)
高橋 收(さわ野杜)	
理事 尾曲 六郎(勝田駅前南)	
原 健三(笹野)	
佐藤 新平(津田第一)	
立岡 修次(津田東)	
佐藤 大(堀口)	
川又 武司(長砂)	
川上 隆幸(佐和)	
岡野 金藏(佐和駅前)	
橋本 正彦(元町)	
石井 賢司(東石川一丁目)	
古川 正一(高場南)	
小林 克也(西大島)	
内田 雅恵(大島公園西)	
梅原 正博(相金)	
近藤 千秋(柳が丘)	
柴田 磐郎(七町目)	
成瀬 福次(平磯)	



## 専門委員会

平成27年度(敬称略)

●企画委員会	●広報委員会
原 健三	尾曲 六郎
佐藤 新平	佐藤 大
川又 武司	黒澤 一男
岡野 金藏	川上 隆幸
古川 正一	北島 敏雄
内田 雅恵	小林 克也
近藤 千秋	梅原 正博
柴田 磐郎	成瀬 福次

・企画委員会とは？  
施策の調査・研究をし、市への要望をまとめます。

・広報委員会とは？  
自治会連合会だよりの作成をはじめ、本会の活動を広めます。

# 状況をお知らせします

## 自治運営研修視察

7月7日(火) 群馬県桐生市

自治会長及び市・社会福祉協議会職員により、群馬県の桐生市社会福祉協議会にて視察研修を行いました。

桐生市社会福祉協議会は、統廃合された中学校を改造して「総合福祉センター」として活用しています。

また、「地区担当制事業」として地区別懇談会の推進、見守り活動と地域福祉活動の情報提供、それらの課題を市職員や地域包括支援センターと連携して解決に努めています。

更に地区担当制事業だけでなく、「介護サポーター事業」や「介護予防事業」も推進しており、市内を22の行政区に支部社協を設けています。その背景に桐生市の高齢化率が32%と高齢化が進んでいることが分かりました。

ひたちなか市と同様の問題もあり、今後の参考になった研修でした。



施設見学中【誰でも集えるカフェ】

## “お互いさま”の意識

～自治会はなぜ必要なのか～

自治会に関する議論は多い、と思います。批判にせよ、提案にせよ、歯切れが良くないものが少なくありません。また、自治会未加入者や退会者の問題は、本連合会でも度々話題になります。自治会はあった方がいいの？それとも無い方がいいの？それ自分たちの自治会は完璧で、今のままで良い、と考えている人ばかりではないと思います。多様な人と人との組織ですから、一枚岩でスッキリいくわけもありません。近年、地域の人間関係が一段と弱まり、そのスキを狙うかのような犯罪や孤独死などの危機意識があることは間違いありません。



また、東日本大震災を経験し、津波や放射能汚染の問題は、地域生活の安心・安全の願いを問い直すこととなりました。安心・安全は、個人の備えで切り抜けられると思って、地域とのつながりを避けてきたようにも感じられます。しかし、それは妄想でしかなかったです。自治会には加入すればメリットがある意識ではなく、日頃の自治会活動を通しての「お互いさま」意識が大切な気がします。地域での互酬関係の意識を共有することで、安心・安全が確保できるのではないのでしょうか。



## 認知症サポーター養成講座【一中コミ】

6月29日(月), 一中コミセンにおいて「一中地区地域のふれあいを広める会」福祉部会主催の講演会を開催し, 49名が参加しました。「認知症を学び 地域で支えよう」をテーマに, 南部おとしよりセンター職員による, 寸劇を取り入れたわかりやすい講話をいただきました。認知症の方への支援は, あらゆる所で暖かく見守り, 適切な声かけなどをすること, そして心のバリアフリー社会をつくること, 認知症サポーターとしての役割であることを学びました。



## 防災セミナーの開催【湊泉町】

当自治会の今年度のモットーは, 「人と人とのつながりを大切にした自治会運営」です。

また, 新たに役員として防災担当を設け, 災害の際に即時に対応できるよう組織の見直しを図っているところです。

その一環として, 6月27日(土), 市生活安全課の職員を講師に招き, 防災セミナーを開催しました。常日頃から個人の備え・地域の備えが必要だと痛感しました。これからは, 定期的に自主訓練を行っていききたいと思います。



## 自治会ハイキング【佐和】

会員相互の融和親睦と体力向上及び健康増進を目的に, 毎年2回, 日帰りの軽登山やハイキングを開催しています。

今回は, 6月10日(水)に日光湯元の「湯ノ湖一周のハイキング」をバス2台, 58名参加のもと実施しました。梅雨空の晴れ間, 快晴のなか湖畔をかつ歩, 全員が元気に完歩し, 心地よいひと時をすごしました。

ハイキングの後は近くの入浴施設で汗を流し, 冷たいビールで更なる懇親を図りました。



## 平磯笑福会 誕生【平磯】

高齢者クラブが無かった平磯町内に, 平成27年5月14日(木), 平磯笑福会なるクラブが出来ました。目的は会員の健康増進・教養向上・親睦を深めることですが, 名前の通り1日1回は笑い福を呼び, その日その日を元気で過ごすことをスローガンにしています。70名もの多くの方が会員になってくれたことは, 結成に携わっていただいた関係者の努力によるものであり, 感謝します。これから会員同士の親睦をどのように図っていくか, 良い事例をお教えてください。



### 今後の行事



- 8月22日(土) ひたちなか祭り 花火大会
- 8月23日(日) ひたちなか祭り
- 8月29日(土) 総合防災訓練

### 編集後記

戦後70年, 高度情報化が進み便利になった反面, 少子高齢化などにより人間関係が希薄になっています。地域内にはゴミの不法投棄や災害への備え, 自治会未加入者問題等いろいろな課題がみられます。

今年もみんなで力を合わせて取組んでいきましょう。

(連合会広報委員会)